



災害現場における映像送信装置等の操作訓練を行いました

日野川河川事務所

平成29年6月9日(金)

平成29年6月8日(木)、日野川河川事務所敷地内で※Ku-SAT II、※K-λの操作訓練を行いました。
訓練には事務所職員6名と専門業者2名が参加し、災害時に迅速に現場の様子が伝えられるよう、設置・操作方法を確認しました。
映像送信装置は、ライトバンで運べる程度の大きさで、訓練すれば専門知識がなくても組立て運用ができる仕様となっています。

災害現場(仮想)

情報共有先(仮想)

<運用手順>

現地の映像撮影

アンテナ

人工衛星

衛星回線を通じて相手先のモニターへ現地の映像が送られます

モニター

※Ku-SAT II (Kensetsu Universal - Small Aperture Terminal)、
※K-λ (Kokudokoutsuu - LAnd Mobile system By Digital Access) とは？

Ku-SAT IIは、現地の映像を衛星回線を使って通信することができる持ち運び可能な装置です。
そのため、災害時には、現地の映像を離れた場所のモニターへ送り、現場の様子をリアルタイムで共有することができます。

K-λは(整備後20年が経過し老朽化したK-COSMOSに代わり)河川・道路管理等における平常時の巡回等の連絡用のほか、災害・事故発生時において情報収集・復旧作業等の指揮連絡を行うための移動通信システム(携帯型の移動局装置)です。